

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 7 回 定例委員会
日時	平成26年7月25日 自 15時 至 15時59分
場所	苫小牧市役所第2庁舎2階会議室（北）
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫 委員 和野 幸夫
欠席委員	
会議録署名委員	植木 忠夫 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主任主事 小坂 喜子
事務局職員	教育部長 澤口 良彦 教育部次長 荒物 屋貢一 学校教育課長 木村 賀津彦 生涯学習課長 瀬 能 仁 指導室長 中川 恵介 青少年課長 亀尾 弘美 総務企画課長 斉藤 拓也 科学センター館長 相内 宏司 生涯学習副主幹 今井 章子 美術博物館副館長 片石 秀信 指導室指導主事 渡辺 知峰 学校教育課学務係長 高坂 博幸 学校教育課教職員係長 斎藤 貴志 総務企画課総務係長 下濱 辰哉 総務企画課総務係主任主事 小坂 喜子
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時
2	会議録署名委員の指名（植木忠夫委員）
3	会議録の承認
	（上原委員長） 第6回定例教育委員会（平成26年6月27日開催）の会議録について、何か御質疑がございますか。
	（一同「なし。」の声）
	－会議録どおり承認－
4	教育長の報告
	今年是小中学校ともに本日25日に1学期の終業式を済ませ夏休みに入ります。8月20日が2学期のスタートになります。
	それでは、前回6月27日開催の第6回会議以降の報告をさせていただきます。
	小中学校の運動会や体育祭は6月28日の啓北中学校山なみ分校を最後に無事行事を終えることが出来ました。山なみ分校の体育祭は、例年、地域や卒業生、保護者に支えられ、委員長にもお手伝いをいただき開催をしておりますが、今年は、朝まで雨が降り、開催が危ぶまれましたが、何とかグラウンドで体育祭を開始することができました。ところが、11時頃のどしゃ降りの雨により、屋内体育館に移動し、昼食をすませ、残りの競技は後日行ったと聞いております。いずれにしましても、所期の目的を十分に果たし、各学校の運動会や体育祭は大きな怪我もなく無事終了したところでご

ございます。

次に、6月28日に「美術博物館大学講座入学式」が開催されております。今年で28回目を迎え、昨年同様に155名の入学がありました。2月28日まで9講座を開催する予定になっております。

7月1日に「子どもを守り心を育てる運動」の結団式が市役所前広場で開催されました。27の関係団体が参列し、法務大臣、北海道知事のメッセージが伝達され15台の青色回転灯車両の出発式も執り行われております。

7月5日には「第2回いじめ問題子どもサミット」が文化交流センターで開催されました。小学校24校の児童会代表47名と中学校14校の生徒会代表28名で構成され、萩野小学校東峰教頭先生には全体道徳、全体講話など、サミット全体を統括いただき、また、実行委員の11名の先生にお手伝いをいただき会議が行われました。

子どもたちの積極的な発言を大変頼もしく思い、また、いじめを自分たちの身近な問題として捉えている姿が見え、子どもたちの取組の意識の高まりを感じるとともに、大変嬉しく思ったところであります。中学校区での児童生徒の話し合いもあり、子どもたちの意見をきちんと聞き入れて今後に生かしてほしいと校長会でお話をしたところであります。

7月8日に学校給食会第1回定例理事会が開催され、平成25年度の決算と26年度補正予算などを承認いただいたところであります。

7月10日に高等学校定通振興会総会が東高校で開催され監事として出席いたしました。御承知のとおり定時制や通信教育の子ども達を側面から支える組織であり市内の企業と工業高校と東高校の校長先生などで構成されている組織であります。具体的には全国大会などの出場に対する支援などを行っております。

また、7月11日、14日、22日に今年度校長採用などにより苫小牧市外に配属された7名の校長先生を訪問して激励や情報交換を行いました。規模や地域との関係等それぞれ違いはありますが、全員元気に校長の職務を果たしている様子がかげえ、本市での経験を十分生かして活躍いただきたいと伝えてきたところであります。

前後いたしますが、7月15日には「学校職員永年勤務者表彰の表彰状伝達式」を教育センターで行っております。今年度は昭和59年採用の25名の学校職員であり、私からは教育改革や社会の急激な変動などによる激動の30年間にわたる教育に対する御尽力に感謝を申し上げ、今後は教員生活の最後には、後進に後を託すという営みがあることから後継者の育成にも活躍いただきたいと挨拶をしたところであります。

7月16日「学校給食共同調理場運営審議会」を開催し、12名の委員に委嘱状を交付しております。

また、委員長にテープカットいただきましたが、美術博物館アミュー開館1周年記念事業として「青森県立美術館コレクション展」が7月19日から開催され、20日にはPMFオーケストラ演奏会が市民会館で開催されております。多くの市民の皆様にはオーケストラ演奏を楽しんでいただいたところでございます。

次に今後の日程であります。明日26日と27日で文化公園アートフェスティバルが開催されます。市民の参加できるワークショップもあり、音楽や美術など多彩な催し物が企画されております。

8月1日からの港まつりでは、例年、市民おどりの審査員などをお願いしております。今年もよろしく願いいたします。また、8月27日、28日に次年度は本市で開催予定である全道都市教育委員協議会の総会が滝川市で開催される予定になっておりますことをお伝えして報告といたします。

(上原委員長) 何か御質問等ございますか。

(一同「なし。」の声)

## 5 議 案

第1号 平成26年度教育委員会点検評価・報告書(案)について

(教育部次長) — 「平成26年度教育委員会点検評価・報告書(案)について」の説明
—
(上原委員長) 質疑に付します。何かございますか。
(佐藤守委員) 「A」評価それからB評価がございまして、その中で、「評価」の所の「備考」欄が、だいたい「B」で「成果」がでている所は、「備考」欄に何らかの説明書きが「必要に応じて」とは書いてあるんですけども、そこに「B」の場合は、こういう事をしたんだけどもまだ足りなかった等といった項目が、「A」の方は必要ないかと思いますが、「B」の時は、何らかの経過とか、こういう事をしています、とかあった方が良くはないかという気がいたしました。
(教育部次長) 「B」評価の所、案件によって記載されている所、されていない所がございまして、この件につきましては記載するような方向で、正式な評価・報告書の時には提出してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いします。
(上原委員長) 他にございますか。
(植木委員) 14ページの「学校防災対応マニュアル等を踏まえた指導・体制の充実」ということで、「B」評価で、「一部の学校が、地域住民や町内会と連携して、防災訓練を実施した」、これはだいたい何校くらいあるのかということと、それと今後ですね、東日本大震災から3年以上経って、ちょっと忘れぎみになってきているけれども、これは、市内全体として、津波等も含めた、噴火等も含めた、地域と一緒にやる防災というのを、委員会として考えているのか。その学校と町内会等地域に任せるとか。その辺の見通し等はあるのかないのか、というあたりをお聞きしたいと思うんですけども。
(指導室長) 「地域住民や町内会と連携した防災訓練の実施(一部の学校)」というふうに記載をさせていただいておりますけれども、正確な資料を今は持っていないので、5校に満たない数というふうに御理解いただきたいと思います。今後ということなんですが、市の防災の方も含めて、地区別津波避難計画が策定してまいりました

ので、そうしますとやはり、学校防災対応マニュアルを改訂していかなければなら  
ないとなったものですから、この辺のところは、計画が示されてきましたら学校と町内  
会で連携して、津波に対する防災訓練、こうしたものを実施していかなければなら  
ないという話は学校にもしておりますので、今後の計画策定状況によって、進捗してい  
くのではないかと考えております。

(上原委員長) 他にございますか。

(佐藤郁子委員) 全体的にですが、「成果」が「○」、「課題」が「△」というふう  
に説明がありますが、「課題」があつて成果が「A」というようなところの基準とい  
いますか、内容の判断のところですが、必要で、これからたぶん満たされるだろう  
というものに関しては、「成果」が「A」で「方向性」が「継続」というところの判  
断でよろしいのか。例えば16ページ等は、全体的にあることですが、「今後は連携  
する新たな団体を開拓する等の働きかけが必要である。」という課題があつて「成  
果」が「A」ですね。その次の「障がい者へのICT学習」もそうなんです、  
「取り組んでいく必要がある。」となつていて「成果」が「A」。その基準のところ  
ですが、どこからが「A」で、どこからが「B」といったところが分かりにくいもの  
ですから、非常に必要であるということにもかかわらず、急ぐものではないということ  
で、成果が「A」となっているが、来年にでも直さなければいけないことに関しては、成  
果が「B」なのか、そのあたりの判断のところは分かりにくかったものですから、全  
体的にそのようになっていきますので、どこで「B」、どこで「A」としたのか分かる  
ところで御説明いただきたいと思ひます。

(生涯学習課長) 基本的な考えとして、この事業をやっていることに対して、とりあ  
えず意義がある、ある程度その事業を継続していくべき内容であつたり、ということ  
をまず判断して考えてみました。その中で、御指摘のあつたように、中には、参加人  
数などが減ってきているという問題点も生じてきています。参加人数は減ってはきて  
いるんですけども、その参加されている方々にとっては、非常に意義のあるという  
事業であるということ判断してA評価。ただ一部そういった問題もあるものですか

ら、その部分についてはこれから考えていくというところです。

(上原委員長) よろしいですか。

(佐藤郁子委員) ありがとうございます。例えば17ページのこれから開催されます「文化公園のアートフェスティバル」の所でも、「△」のところはどうしようもないところなんですね。「雨が降っている」とか。そういうものと「ボランティアの育成をする」と、何とか工夫すればなるものの違いが分からなくて、全部「△」となってくると、外部評価していただく方にも説明がしにくいんじゃないかと思って伺ったものですから、利用する方の満足度というところに基準を合わせているということで理解させていただきます。

(上原委員長) 他にございますか。

(佐藤守委員) 教育執行方針で、29ページに「あおば学級の指導員を増員するとともに東中学校に、その分室を開設するということ」に基づいて、12ページの「いじめ・不登校・生活指導上の諸問題への対策」の「不登校問題」というところで、方針の所にも同じ「増員と分室の開設」ということを書いているんですけども、具体的な取組の中には、そのことが書かれていないので、これは増員になったのか、東中学校は確か分室ができたと思うんですけども、記載がないということが1つです。13ページの「食育の推進」の「栄養教諭の活用」ということで、小学校でいくと全校ではなく、2校がやられていないのと、中学校でも2校やられていない所もあったんですけども、その理由が何かあるのかどうか。3つ目が、17ページの今回も26、27日とアートフェスティバルがあるんですけども、先ほど御指摘があった「△」の雨が降った場合の対策ということで、明日から始まるんですけども、今回雨の対策というのは考えられているのかどうか。それから、もう1つが、「アウトリーチ」なんですけれども、小・中学校で10校等が利用されたということなんですけれども、各町内会でも御案内が出ているかと思うんですが、町内会の利用はどこもなかったのかどうか、それはどうしてそういう方向なのかということ、分かるのであれば教えていただきたいと思います。

<p>(指導室長) まず最初に「不登校問題」の部分ですが、「適応指導教室の指導員の増員と分室の開設」というところで、増員もはかりました。分室も設置いたしました。</p> <p>そのことについては、表現上難しいんですが、取り組み内容の所で、記載するように検討してまいりたいと思います。「食育の推進」に関しては、すべての小・中学校でということと考えてございますけれど、日程の折り合いが合わなかったということと、栄養教員の人数が限られていますので、こういった形になってしまったということと、「評価」としては「A」をつけているわけですが、いずれにしても、食に関する指導、栄養教員がする指導は実施してはいないのですが、食育的な部分で、学校として指導は行っておりますので、「評価」は「A」にさせていただきました。この辺のところ、もう1度詳しく、なぜ全校でないのか、調査をしてまいりたいと思います。</p>
<p>(生涯学習係長) まず、明日から開催されるアートフェスティバルの雨の対策のお尋ねですけれども、昨年に関しては、雨にたたられて、屋外で行う事業がほとんど無駄になってしまった、ということがあるものですから、今回、実行委員会の皆さんもそこを非常にどうしたらよいのかと、1番大きな議論になりました。それで、今年については、屋内でもそういった催し物ができるということで、サンガーデンの中に人工で作った池があります、その池の上を全部木ではわせまして舞台を設置いたしました。ですので、雨が降って外でできない催し物でも、そういった舞台をすることによって、中でいろいろと演奏等してもらおうという今回工夫をしております。ただ、なかなか全部のものをそのステージを使っては難しいかもしれませんが、今回新たな試みとしては、新たな舞台を中に作るということがございます。それから、「アウトリーチ事業」につきましては、平成21年度から実施している事業でございます。目的といたしましては、地域の方々や子ども達のところへ直接技術を持ち込むことによって、そのすばらしさ、感動を与えて心の豊かさや、やすらぎを得ることを目的として実施している事業でございます。平成25年度につきましては、ここに書いてございますとおり、市内の小・中学校10校で、全部で22の事業を実施しております。陶芸、絵手紙、茶道や雅楽ですとか、こういった分野が中心となっております。</p>

ます。当然ながら今お話ししたように、子ども達以外にも地域の方々にも、そういった技術を持ち込むというようなことが一つの目的としてあってはございますけれども、残念ながら、平成25年度につきましては、町内会からはございませんでした。今後こういった目的がございますので、さらに町内会等についても働きかけをしていきたいと思えます。

(上原委員長) 他にございませんか。

(植木委員) 10ページの「特別支援教育」に関わって質問したいのですが、「B」評価ということで、「支援員の人数25年度3名増員」ということで、「十分ではない」という評価をされているのですが、私も学校現場から話を聞くと、やはり支援教育に関わって、要するに支援員が足りないという声を良く聞くんですよね。今後、中・長期、短期でもいいんですけれど、支援員というのは委員会として、増やそうとしているのか、それとも現状のまま進んでいこうとされているのか。改善ということですから、おそらく増やす方向では、考えているんだと思うんですが、お金の事も関わってきますので、大変難しいことかなと思うんですけども、これは、できるだけ困り感のある子ども、そして、指導する先生方がいるわけですので、できるだけ早く増やしていくということが必要かなと私は考えていますけれど、この辺の人数を増やす計画というのがあるのかないのか。

(指導室長) 結論から申し上げますと、増員をはかる計画ではあります。考え方としては、すべての小・中学校に支援員を配置したいという考えでおりますが、問題は、支援対象の児童・生徒がいるかどうかということになります。平成25年度から年度末にヒヤリングを行いまして、学校で希望する学校と支援対象の児童生徒がどういう形であるかということ、ヒヤリングで確認しながら適正に配置させていただいているところでございます。予算という課題もございますけれども、一方で支援員になっていただける方、待遇面でいろいろな課題もありますので、そうした方を探すのが意味非常に大変であるということ、それとスキルアップを図るためには、研修もそうですが、キャリアというのも非常に大切でありますので、勤めていただい

る方が、今後も継続して勤務をしていただけるようなかたちの配慮というものも、待遇だけではなく、そういったところでも必要になってきているという課題はあります。

(上原委員長) よろしいですか。

(植木委員) はい。ありがとうございます。

(上原委員長) 私の方から1点。点検報告書は外にも出るでしょうから、中身で間違ってたりしているところは、指摘をいたしますので、確認をして訂正していただきたいと思います。4ページ「12月26日」の会議なんですが、「12月25日」の間違いではないかなと。6ページ「4月3日 苫小牧市まちを緑にする会役員会」は、「4月2日」だと思います。1つ抜けているので、入れた方が良いのではないかなと思うのですが、「7月27日(土) 美術博物館の開館記念式典」がたぶんあったはずですが、それから7ページ「3月18日の卒業式、大成小学校」ですが、これは、大成小学校は「3月19日」です。もう1度確認していただいて、訂正する必要があるれば、訂正していただきたいと思います。以上です。他によろしいですか。

(一同「はい。」の声)

—原案どおり決定—

第2号 教職員の処分について(内申・報告)

第3号 教育委員会職員の処分について(諮問)

(上原委員長) 議案第2号及び第3号は、人事案件等でございますので教育委員会会議規則第21条の規定により、秘密会としたいと思いますがよろしいでしょうか。

(一同「はい。」の声)	
—原案どおり決定—	
6	協 議
なし。	
7	そ の 他
(1) 平成25年度の指定管理者モニタリング総合評価結果について	
(生涯学習課長) —平成25年度の指定管理者モニタリング総合評価結果についての説明—	
(上原委員長) 何か御質問等ございますか。	
(佐藤守委員) 基本的なことをお聞きしたかったんですけども、文化会館とか文化交流センターとか市民会館等、貸館で事務の打ち合わせをする場合に、小部屋を借りるんですけど、基本的には料金是一緒でしたか。	
(生涯学習課長) 料金の設定につきましては、部屋の広さによって料金設定をしているかと思しますので、部屋の広さによって料金設定が違います。	
(上原委員長) よろしいですか。他に御質問等がないようですので、質疑を終結いたします。その他を何かお持ちの方ございませんか。	
(一同「なし。」の声)	

8 委員会閉会の宣言（上原委員長） … 15時59分